

心に響く映像教材を活用した道徳授業のあり方 —道徳教育映像教材（小学校）を使って—

1. 設定理由

安房道徳教育研究部会では、部会テーマを「子どもたちの生きる力を育てる道徳指導の深まりを求めて—道徳的実践力を育てる道徳の時間のあり方—」に設定し、日々日常実践に取り組んでいる。

千葉県では、平成22年3月に教育振興基本計画「みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン」を策定し、道徳教育に関しては、「道徳性を高める実践的人間教育の推進」を計画実現に向けた施策の方向の一つとして掲げ、就学前から高等学校までの発達段階に応じた道徳教育を推進していくこととした。その推進に向け、平成22年度には中学校・高等学校の道徳教育映像教材、平成23年度には「道徳教育映像教材（小学校）」を制作し、併せて各小学校での効果的な活用が図られるように「道徳教育映像教材資料」が作成・配布された。

本部会では、本映像教材及び資料を使用し、子どもたちの心に響く道徳の授業にするためにはどうしたらよいか、その効果的な活用方法を模索、検証を試みることにし本主題を設定した。

2. 研究の内容と方法

- ①7本の映像教材を視聴し、そのよさや活用方法について検討する。
- ②映像教材を活用して、一人一人授業実践を行う。
- ③低中高別に研究授業を行い、その有効性や活用のあり方を検討する。
- ④県から映像教材の作成に携わった指導主事を招聘し、指導を仰ぐ。

3. 成果と課題

映像教材は、児童の気持ちを引きつけ、見ることだけで感動がある。また文字に抵抗のある児童には内容が理解しやすく、登場人物の表情などから気持ちを捉えやすいというよさがある。更に、授業者の展開のしやすいように映像が止められ、中心発問場面などでの主人公の気持ちを考えさせるのにはとても有効であった。

DISK2に収録されている授業実践映像をあらかじめ視聴をしておくことで、展開の仕方や自分が映像を静止させ考えさせたい場面、補助発問を導入したい場面などを考えられ、事前の研修に役立つことも一つのよさである。

今回配布された映像教材は単発で授業を行うことにも有効だが、ねらいとする価値により迫らせるためには、各教科や他の教育活動との関わりを図りながら総合単元的に扱うことで更に充実した道徳の時間になった。このDVD映像教材資料は、授業者が児童の実態に合わせ、自由に指導案の編集・場面選択・資料印刷などを行うことができるのでとても使用価値は高いと考える。

ただ、映像内容を吟味し、学級の児童の実態や発達段階、指導時期などをよく考え活用していくことが大切である。今後も、映像教材のさらなる有効な活用方法を模索し、子どもたちの心に響く授業実践の研修をしていきたい。